

2023年11月8日

各位

SBIホールディングス株式会社

SBIインベストメント株式会社

**株式会社リコーとSBIインベストメント株式会社による
コーポレートベンチャーキャピタルファンドの共同設立に関するお知らせ**

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の連結子会社であるSBIインベストメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員会長兼社長：北尾 吉孝、以下「SBI インベストメント」）は、株式会社リコー（本社：東京都大田区、代表取締役 社長執行役員・CEO：大山 晃、以下「リコー」）と共同で、リコーのBtoB領域におけるイノベーションの創出を目指し、最新のデジタルサービスを牽引するスタートアップを投資対象とするコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）ファンド「RICOH Innovation Fund」（以下、「本ファンド」）を設立しましたので、お知らせいたします。

リコーはこれまで業種特化CVCやアクセラレータープログラム（TRIBUS）の運営により、オープンイノベーションを進めてきました。今回、デジタルサービスの会社への変革を加速させるためにも、市場や技術の変化が早い事業・技術分野において、リコー社内でのR&Dに加え外部企業との事業連携や協業を通じて事業開発の加速に取り組みます。

本ファンドで、主にオフィスや現場での創造的な仕事の支援や、デジタル・ワークプレイス実現のための新しい技術やサービスを有するスタートアップへの投資を実行します。また、リコーの有する資産やリソースの活用、グローバルの顧客接点力との連携により、スタートアップの成長を支援します。リコーはスタートアップとの協業・共創により、イノベーションを創出し“はたらく”に変革を起こしつつけることで、人ならではの創造力の発揮を支援、持続可能な未来の社会作りに貢献します。

主な投資対象領域

「“はたらく”に歓びを」を実現するための領域を対象とします。

◆創造性の支援

個人やチームが創造性を発揮し、コミュニケーションやコラボレーションを通じて新たなアイデアや価値を生み出す創造的な仕事の支援

◆デジタル・ワークプレイス

いつでもどこでも自らに合った環境でシームレスに働ける、また生産性と創造性を発揮出来るデジタルな仕事空間の提供

◆デジタル・インクルージョン

人の属性にかかわらず、誰もがあらゆるデジタルテクノロジーをセキュアかつ自由に活用できる支援

◆脱炭素/循環型社会

来たる「排出量実質ゼロ」を目指す社会において必要となる仕組みの実現および、タスク効率化による目指す姿の実現の加速

SBIインベストメントはSBIグループの投資事業における中核的企業であり、「新産業クリエイター」として、AI、ブロックチェーン、フィンテック、IT、バイオ・ヘルスケア、環境エネルギー分野等の次世代の成長分野のベンチャー企業への投資と、事業会社の事業投資を全面的にサポートするCVC事業を行っており、運営するCVC ファンドの2023年11月時点における累積出資約束金額は国内最大級の1,430億円（※）、サポートする事業会社は21社となっています。

SBIインベストメントはこれまでに培ったネットワークや企業育成の知見を活かし、事業会社の投資先企業との事業提携や資本提携を支援するとともに、今後も日本経済の活性化に貢献してまいります。

（※）2023年11月8日時点、SBIインベストメント調べ。

【ご参考：新ファンドの概要】

ファンド名	リコーイノベーションファンド1号投資事業有限責任組合
通称	RICOH Innovation Fund
設立日	2023年11月1日
ファンド規模	約50億円
運用会社	SBIインベストメント株式会社
運用期間	10年間

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126